

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2016 / 8/17～9/30)

1. 勉学の状況

オリエンテーションに間に合うように渡航したのですが、オリエンテーションが 8/19、そして授業が 8/29 に第一回目の授業のオリエンテーションということで 10 日間も特に予定のない毎日を過ごしていました。授業が始まって、10 月後半まで週一回のスウェーデン語の授業と金、土、日、と三日連続の授業が三週間に一回、という、とても時間のある毎日を過ごしています。

スウェーデン語の授業は全ての生徒が交換留学生で、先生もおおらかで優しく、とてもリラックスして勉強できています。発音がとても独特で難しいですが、スウェーデンにいるのだから少しくらいは、と思い受講することを決めていました。

金、土、日と三日連続の授業はドキュメンタリーを撮る授業です。フィクションではなく、現実に行っている事を撮り、自分自身で編集して完成させていくものです。カメラの使い方や照明、マイクの使い方、編集の仕方など、実際に自分でやるようなアクティブな授業です。自分の考えや構想などをクラスの前で発表し、フィードバックを得、また自分のアイデアを考え構想していきます。このクラスには交換留学生が数えるほどしかなく、ジャーナリストとして働いている人や、もう独立して働いている人など、様々なバックグラウンドを持った人がいて、様々な意見が得られます。自分が表現したいことを自由に撮る事ができるので、しっかりと構想を考えて取り組んでいきたいと思えます。

2. 生活の状況

絶対的に日本より自分の時間が増えました。バイトもなく、時間に溢れています。日本にいた頃より自炊を沢山するようになりました。外食はどこかに出かけない限り減多にありません。外食がとても高いので、自然と自炊になります。私の住んでいるコリドーは徒歩 1 分以内でスーパーに着くので、食材を手に入れるのにも手間がかかりません。コリドーと言うのは、寮みたいなものですが、9 人それぞれバスルーム付きの個室に住んでいて、皆でリビングルームとキッチンシェアします。毎週日曜夜 9 時から Fika(皆で集まって食べる三時のおやつみたいなもの)があったり、みんなでご飯作ったり、語り合ったり、とても良いシステムだと思います。最初の方は他人感が否めませんでした。顔を合わせていくうちに打ち解けていき、どんどんコリドーの皆と会って話をするのが楽しくなってきました。最近是一緒にタコスを作って食べました。

そして、スウェーデンの寒さについてですが、もう、マフラーと手袋ってくらい寒いです。

スウェーデンの中でも南の方なので、スウェーデンのなかではまだまだよ、とスウェーデン人が言っていました。まだ10月なのにこんなに寒いのか、という感じで凍えています。わたしは冬用のコートを一着も持ってこなかった。春仕様のコートとマフラーと手袋、そしてヒートテック（極暖）でまだ寒いままです。